

平成28年度東林地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

申請事業名	東林地区自転車マナー向上事業
申請団体	東林地区交通安全母の会
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の交通安全意識の向上。 ・交通事故の減少。
交付決定日	平成28年6月22日
交付決定額 (事業費)	383,000円(決算384,412円)
団体実績報告	<p>10:00～ 開会式・講話 10:20～ スケアードストレート 11:20～ 講評 11:30～ 閉会式</p> <p>相模原南警察の講話と、プロのスタントマンチームによる交通事故の実演にクイズを加えた形式で講習を実施。受け身の姿勢で見るだけでなく、なぜ事故が起きてしまったのかと考えながら交通ルールを身につけた。</p>
市 評 価	<p>従来の交通安全キャンペーン等では伝えきれない強いメッセージを発信するものとして、本事業は高く評価できる。</p> <p>今後も地域の交通安全意識の向上が継続的に図られるよう、より多くの住民参加を促す工夫が期待される。</p>
備 考	

申請事業名	東林地区救急医療情報ケース整備事業
申請団体	東林地区民生委員児童委員協議会
事業目的	高齢者等の救急時の適切な医療活動を助力し、安全・安心活動及び見守り活動の促進を図ることを目的とする。
交付決定日	平成28年6月29日
交付決定額 (事業費)	649,000円(決算718,709円)
団体実績報告	<p>東林地区内在住の77歳以上(民生委員の判断で必要と思われる人は77歳以下でも可)の人に対し救急医療情報ケース(名称・いざという時の安心・安全ケース)を配布し急病や災害時に対応できるよう備えていただけるように啓発をした。</p> <p>また、事業2年目に入り、緊急連絡表の内容に変更があった方には緊急連絡表の差し替えできるよう対応をした。</p>
市評価	<p>高齢化が進行する中で、一刻を争う救急の現場で役に立つ「救急医療情報ケース」を配布することは、地域住民から大変喜ばれている。</p> <p>本年度は、実際に活用され、その効果が確認された事例もあり、地域で地域を見守る取組として大いに評価できる。</p>
備考	

申請事業名	東林地区安全・安心マップ作成事業
申請団体	相模原市安全・安心まちづくり推進協議会東林支部
事業目的	地域住民の目で見えた危険箇所を分かりやすく表示した独自のマップを作成することにより、地域の犯罪や交通事故を減らし、安全で安心して暮らせるまちづくりに役立てようとするもの。
交付決定日	平成28年6月29日
交付決定額 (事業費)	296,000円(決算301,684円)
団体実績報告	<p>本年度は東林小学校区を対象に安全・安心マップを作成した。作成にあたっては、作業部会を9回、危険箇所確認のためのまち歩きを延べ20回実施したほか、子どもの学習を兼ねて、東林小学校の児童を対象としたフィールドワークを行った。また、取組にあたっては、相模原南警察署から交通事故と犯罪発生 of 資料提供を受けた。</p> <p><掲載内容> 交通・防犯上の危険箇所等</p> <p><作成部数> 7000部(配布先:東林小、周辺自治会ほか)</p>
市評価	<p>地区で初めての取組であったが、地域の様々な立場の方が危険箇所をチェックし、時間をかけて丁寧に作成した。</p> <p>また、きめ細かいマップにするため、小学校単位で作成するとともに、その過程に子どもを参加させた点が特に評価できる。</p>
備考	

申請事業名	おださがさくら祭り
申請団体	おださがさくら祭り実行委員会
事業目的	<p>三つの益を柱として協力者、参加者、主催者が一体となり、おださがの春を通してまちを愛するところをつくりあげられるような地域イベントを開催し、地域活性につなげる。</p> <p>地域益・・・春のにぎわいとして毎年多くの住民から愛されるまつりへ</p> <p>参加者益・・・人とのつながりが感じられるまつりへ</p> <p>主催者益・・・まつりの開催が組織の成長と周知へつながっていくまつりへ。地域のよろこびを自分のよろこびに感じられるところの醸成。</p>
交付決定日	平成29年1月17日
交付決定額 (事業費)	500,000円(決算3,371,816円)
団体実績報告	<p>3月25日(土)におださがさくら祭りを開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縁日、屋台の出店：22店舗 ・ステージ出演団体：20団体及び個人 <p>1万2000人を超える来場があり、地域に根ざした新旧商店の商業の振興と共に、おださがで活動する団体のステージ発表の場を通じておださがの魅力発信ができた。おださが桜祭り、松が枝公園の桜、おださがの春を通じて地元を愛する心の醸成ができた。</p>
市評価	<p>まだ2年目の事業であるにもかかわらず、開始前から多くの人を訪れ、既にこの地域の代表的なイベントとして認知されている。</p> <p>若い世代が中心となって運営している点も、地域の担い手づくりの観点から評価できる。</p>
備考	